

町政を問う!

一般質問 10議員が質問

一般質問をした議員自身の原稿を基に編集しました。

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例議会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では3日間にわたり行われました。

- 1 根岸富一郎 議員
泉井地区の元山林の埋立場について
- 2 区長について
- 3 ごみ処理施設建設について
- 野田小百合 議員
- 1 ニュータウンにおける公園の整備について
- 2 障がい理由にした差別の解消に向けて
- 森利夫 議員
- 1 今宿東土地区画整理事業地内に誘致している食品系スーパーについて
- 2 建設工事の発注方法について
- 日坂和久 議員
- 1 地域住民の安全・安心な暮らしについて
- 2 平成の国分寺造営でつなぐ古代瓦のふるさと鳩山再現事業について
- 田中種夫 議員
- 1 あんずの植栽実績と現状について
- 小川唯一 議員
- 1 特色のあるまちづくりに、英語教育充実の町、鳩山を提案する
- 2 農業集落排水事業について
- 中山明美 議員
- 1 防災教育について
- 2 納涼祭・はとやま祭の安全管理について
- 3 特定健診について
- 小鷹房義 議員
- 1 農産物の付加価値化について
- 松田隆夫 議員
- 1 人口減少社会に向けた課題と対策―20年後の鳩山を見つめて
- 2 『放射線副読本』(文部科学省2011・10)について
- 小峰文夫 議員
- 1 スーパーマーケット誘致について
- 2 企業誘致について
- 3 別居状態の世帯主に児童手当を渡さない方法はないか
- 4 たばこ税について
- 5 鳩山中学校吹奏楽器について
- 6 鳩山町北部開発について

生活環境

泉井の山林は何をしているところ

県と協議し周辺住民に説明したい

根岸富一郎 議員



- 問** 泉井の山林の状態にどう対応しているか。
- 答** 坂戸の解体業者が平成18年頃から、瓦礫類、木くず等の混合廃棄物を持ち込んだ。県は一時保管の基準遵守を継続指導。現在、県と町と警察の連携で①新たな持込の禁止②処理済み廃棄物の撤去など指導している。
- 問** 水質などの状況は。
- 答** 上板谷沼の検査は、今年行う。葎ヶ谷沼は、平成23年実施済みである。
- 問** 周辺住民への説明会ができないか。
- 答** 県と協議をして検討する。
- 問** 自治区で報酬を支給している状況は。
- 答** 17自治区のうち8区が支給している。
- 問** 規約を制定している状況は。
- 答** 7区が制定。
- 問** 総会の状況は。
- 答** 16区が開催。
- 問** 区長報酬は、自治区より支給することが、より地域を民主的にすると思うがどうか。
- 答** 研究課題とさせて
- 問** 8月の説明会でも、「次期更新施設候補地選定の問題」が出されたというが、詳しい経過、考え方の説明はできないか。
- 答** 「上熊井に決めた」その前に戻ることはいらない。
- 問** 炉の運転方法、煙突の高さ、稼働年限、次の次の施設建設地、周辺対策など決めて、協定書にすることが先ではないか。
- 答** 現況の測量をして、地元のみなさんの意見を取り入れ基本プランをつくるために、今、説明会等を行っている。

泉井地区山林の産業廃棄物



野田 小百合 議員



障がい者施策

デマンドタクシー利用の見直しを

使いやすいシステムにしていきたい

問 6月に「障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律」が成立したが、町の見解と課題はどのようなか。

答 障がいのある方などから何らかの配慮を求められた場合、負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要で合理的な配慮を行うことが求められている。国は今年度中に基本方針を作成し、その後1年以内に国の各行政機関で対応要領等を作成する。その内容を見て町の対応を検討したい。

問 障がいのある方などが使いにくいのか、公共施設の再点検をする必要があるのではないかと。施設の構造上、すぐに対応できない場合もあるが、ドアやトイレ、段差など、バリアフリー化の状況を調査したい。

問 障がいがある方のデマンドタクシー利用について、検討が必要ではないか。

答 到着時に利用施設職員の介助があれば、利

用できる方もいる。工夫して、できるだけ障がい者の方にも使いやすいシステムにしていきたい。

問 ニュータウンの公園について、若い世代が多く子どもがたくさんいる頃と高齢者が多くなつた現在では、公園のあり方が変わってきたのではないか。遊具の配置や必要性、もつと必要な設備があるかなど住民の皆さんと一緒に考えることが必要ではないか。

答 公園の未来像について、行政だけではなく、住民の意見を取り入れて検討していくことが必要と考えている。



リニューアルした役場庁舎の障がい者用トイレ

森 利夫 議員



入札について

最低制限価格はいつ誰が決めるか

入札会当日の朝、町長が決定する

問 工事発注に当たつての入札の取り扱いや区分は。

答 地方自治法では、一般競争入札が原則とされている。鳩山町が行っている入札区分は、設計額が1000万円を超え、1000万円以下130万円までは指名競争入札、130万円以下は随意契約で、基本的には行っていない。

問 設計価格と最低制限価格は、いつ誰がどのように決めていくのか。

答 設計額100万円以上の決定は、設計図書を添付して、町長の決裁を受ける。最低制限価格は、あらかじめ担当課で算出しておくが、入札会当日の朝、最終的には町長が予定価格・最低制限価格を決定している。

問 1億数千万円の工事が、最低制限価格との差額10万円で3物件、9000万円の工事が差額20万円で入札されているが、この事

実をどの様に受け止めているのか。

答 仕様書に基づき積算し、公表されている町の予算等をよくよく研究して入札に臨んでいる。

問 設計を委託した業者に当然、設計価格等守秘義務が課されるはずだが。

答 知り得た秘密の保持は約款で規制している。

問 入札の際に、見積書や内訳書が付けてあると思うが、入札額は見積額から値引き分を差し引いて提出しているのか。

答 入札箱には総額の札が入られ、同時に担当者の前に内訳書が提出される。内訳書の総計額が正に入札額である。



最低制限価格+10万円で落札されたプール改築工事

日坂 和久 議員



安心・安全な暮らし

違法駐車による住民生活への支障は

生命財産の危機、交通事故の要因等

地域住民の安心・安全な暮らしについて

問 違法駐車は住民生活にどんな支障があると捉えているのか。

答 消防車・救急車の進行の妨げになり、生命財産の危機に直結する。

また、交通の死角となり、交通事故の要因にもなる。

問 NT地区では、住民の皆さんと協働で、違法駐車解消対策をとっているようだが。

答 住民・警察・町で協議し、啓発チラシを掲示するなどしている。

問 成果はどうか。

答 違法駐車車両は半減している。

問 消防機関とは違法駐車解消について協議したのか。

答 特に協力体制はとっていない。

問 今後の対策は何かか。

答 11月に住民・警察・消防・町の4者協議を開く予定だ。

問 近隣住民に威嚇行動をとる人物について、見守り支援



違法駐車が死角となり、交通事故の要因となる。

ネットワークでは対策をとれるのか。

答 警察や保健所とも連携し協議している。個別検討会議も開催しており、保健師、精神保健福祉士、民生委員等の協力を得て、見守りを続ける。

平成の国分寺造営でつなぐ古代瓦のふるさと鳩山再現事業について

問 鳩山で焼いた瓦を何故国分寺に運上するのか、説明する必要があると考えるが、如何か。

答 鳩山窯跡群と武蔵国分寺の関係を展示し、PRパンフレット等を配布する予定だ。

あんずプロジェクト

あんず栽培は十分に検討すべき

試験栽培として継続していく

田中 種夫 議員



問 「あんず」の植栽後3年目になるが進捗状況を伺う。プロジェクト委員の委嘱期間が過ぎたが今後の予定はどうか。

答 一部委員の辞任もあり、今後新たに募集していく。

問 現状の移植数量と今後の予定は。

答 現在約600本だが今年新たに300本を予定しているが、移植場所が4分の1しか決定していないので現在場所の選定中である。

問 試験栽培としても無理して予定本数を移植する必要は無いと考えるが如何か。

答 すでに予約注文済みのため、場所探しに努力し継続予定である。

問 本数は、減らして例えば50本でも良いと考える。

答 今年は試験栽培のため収穫は「ゼロ」だが来年度以降は見込めると予想できる。

問 収穫時の方法はどのように考えているのか、収穫時期は3〜5日と思

うが、600〜900本の町全体に分散移植してある個別の手もぎ作業をどのように考えているのか。

答 収穫についてはボランティアを募り個別の手もぎを予定している。

問 3年間で必要とした予算は如何ほどになるか。

答 約500万円、初年度も含まれていて機械の手配などがあり、今後は削減される予定。

問 収穫後の加工方法は何処でどのように考えているのか。

答 亀井農村センターの改築により「あんず」だけでなく他の果実なども含め一緒に加工していく予定。

移植された泉井地内の「あんず」



小川 唯一 議員



教育行政

英語教育の充実した町、鳩山を提案する

他の市町村より力を入れている

問 幼稚園から英語教育を取り入れたらどうか。

答 幼少のころからネイティブな英語に親しむことは重要なこと。

問 小学校低学年からの英語教育が主流になっているが。

答 頭の中が柔軟な時、異文化に触れることは大事。

問 町では教育施設の整備が進んだ。これからは国際感覚の養成を図ってほしい。

答 英語活動の講師2名を雇っている。英語を使って学ぶ・遊ぶ・体験する指導をしている。

問 鳩山中学校の国際交流会の現状は。

答 大東文化大学の留学生を中学校に招いて交流を図る。他国に目を向け文化を学ぶ。

問 今後の取り組みは。

答 生徒たちも関心があり、今後も続けていく。

問 海外派遣制度の復活は出来ないか。

答 総合的に判断して今のところ難しい。

問 農業集落排水事業について、供用開始7年となるが機能に問題はなにか。

答 順次適切に修繕しており問題はない。

問 事務処理合理化のため生活環境課に担当を移せないか。

答 機構改革の必要性は認識している。時期を見て。

問 子育て支援住宅の分担金はだれが払うのか。

答 研究途上でこれから研究していく。



供用開始後7年目の施設

防災教育

防災を実際に体験することは大切では

地域の一員として自覚を深めるのは重要

中山 明美 議員



問 鳩山町の防災教育の一環として取り組む予定はあるか。

答 小中学生を対象とした防災宿泊訓練は。

問 宿泊体験の実施は無理と考えるが、宿泊体験の趣旨を生かした防災訓練について検討することは大変重要である。

答 日帰りにしてでも防災訓練を体験させたい。

問 もう少し分析し、学校の訓練でどう取り組めるかについては、校長会とか安全主任会議等で教育長の方から提案をさせていただく。前向きにしっかりと検討していく。

問 地域安全マップ作成への参加は。

答 防災意識や防犯意識を高めることは大変有意義なことである。全ての児童・生徒が参加して作成する過程が大事である。その後の活用も重要だと考える。

問 地域の防災訓練に参加することは。

答 地域の一員としての自覚を深めることは、ふるさとを思う気持ちや

豊かな心を育む上で重要なことと思う。各地域で中学生にどのような役割と形で参加を希望するか、ご検討いただければ、教育委員会としてもできる限りの支援をしていきたい。

問 地域の自主防災訓練の予定は。

答 ニュータウン地区では毎年防災訓練を実施している。他の地区でも実施したいとお話をいただいている。

問 シェイクアウト訓練を取り入れてはどうか。

答 学校での避難訓練や地域での自主防災訓練などで取り入れていただければと思っている。



荒川区立南第二中学校で行われた宿泊体験での炊き出し訓練

農産物加工施設

町内で農産物加工施設はできないか

民間の力を生かし、出来る範囲で町も支援



小鷹 房義 議員

問 農産物の特産品に貼つてある「ふるさと認証食品」とはなにか。

答 埼玉県が認証しているもので、主原料、材料がすべて埼玉県産ということが条件でシールが貼られる。県の品質基準を満たしていることが認められれば認証される。

問 暑い夏に鳩山の大豆アイスを売り込むことは出来ないか。

答 鳩山町は暑いということまで有名になってきているが、アイス類は気温が28度を超えると逆に売れなくなると言われている。

問 学校給食には町内の特産品や農産物が使われているか。

答 週3回の米飯はすべて鳩山町産のキヌヒカリを使用。特産品では地元産の味噌を使用している。野菜類は、玉ネギ、ニンジン、シヤガイモ、長ネギ等で全体の食材費の15・58%が町内産である。

問 農産物の加工を町外にお願いしている

ようだが、町内で加工施設ができないか。

答 特産品開発では町内加工業者が育っていないが、町自身が生産に携わるわけにはいかないの、民間の力を生かすことに重点を置き、町としてもできるかぎり支援する。

問 発芽大豆を使った新しい鳩豆うどんがまもなく開発されると聞いているが、その効能は。

答 発芽大豆にはギャバというものが多く含まれ、神経を落ち着かせ、血圧を下げ、高血圧の予防、改善などが期待できるとされている。



発芽のパワーで町民の健康をまもる

人口減少社会

未来への投資を急げ

ロードマップを作って対応していく



松田 隆夫 議員

問 国立人口問題研究所が20年後の鳩山町の人口を予測している。

2010年人口1万5305人は2030年に1万2094人に、そして人口の3分の1が75歳以上、1学齢の出生者数は30人そこそこになる。

答 対策を図らなければ、その可能性が高い。

問 人口構成の激変で安心感や利便性が失われ、地域社会の良好な維持がむずかしくなる。

答 その意味から第5次総合計画で「安心・魅力づくり協働戦略」を計画の柱とした。

問 財政面では、10年後の税収はピーク時の半分になってしまう。

答 対策として法人税増収をめざしている。

問 若年層(15歳未満)の課題は何か。

答 子育て施策や教育環境の充実だけでは人口は増えない。子育て支援住宅(亀井地区)といったハード整備が必要だ。

問 ごみ処理更新施設の周辺対策費など、利用

できるのではないかと話したい。

答 地元の方々の話し合い次第だ。

問 高齢層(65歳以上)の課題は何か。

答 多世代交流センターに福祉健康複合施設を整備したい。

問 どのようなものか。

答 特養や介護予防施設を展開し、医療連携・生活支援サービス・権利擁護などを充実したい。

問 20年後を見据えた行政の態勢が見えない。

答 ロードマップ(目標管理)を作って、システムティックに公共投資をしていく必要がある。

問 迅速にロードマップを作って対応したい。



入西赤沼線(来年3月末開通予定)の越辺川大橋 坂戸側から鳩山を望む